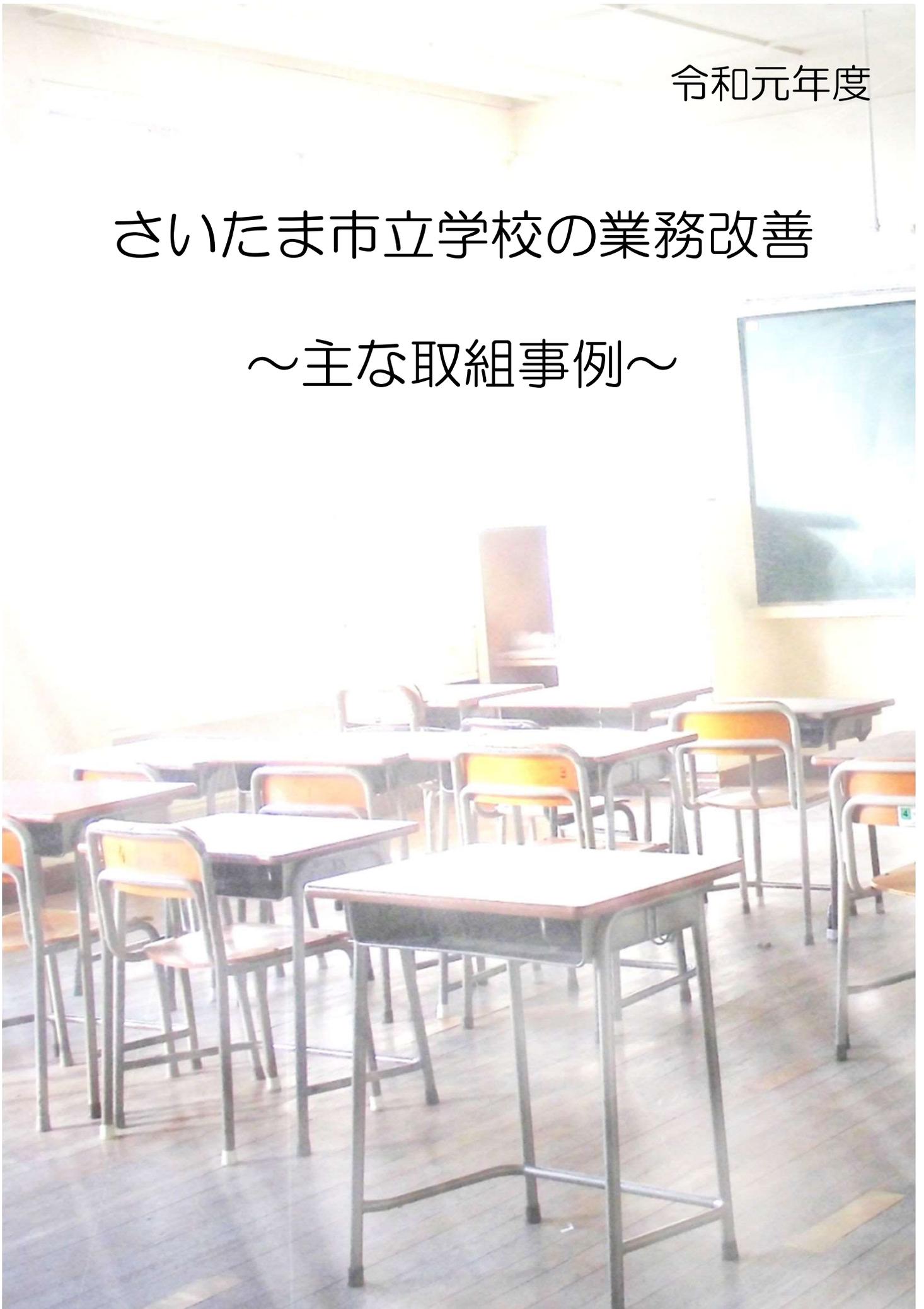


令和元年度

さいたま市立学校の業務改善

～主な取組事例～



タイムカードへの退勤目標時間の明示



【課題】

在校時間を意識せずに勤務しており、長時間在校が常態化している。

【取組内容】

出勤時、タイムカードに目標退勤時間の色のクリップ（時間によって4色のクリップを用意した）をつける。

20時以降のクリップが多い教職員には、管理職や同僚が積極的に声をかける。

【効果】

目標時間が見える形で明確になり、時間に対する意識が高まった。

MC（マインドチェンジ）デーの設定

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|------------------------|
| 22 | 月 | ○ | ○ | ○ | 1年部活動本入部 |
| 23 | 火 | ○ | ○ | ○ | 50分特別日課 専門委員会 |
| 24 | 水 | ○ | ○ | ○ | 内科検診1年、2年3・4組 尿検査(全学年) |
| | | | | | 3年、2年1・2組 |
| | | | | | MC |

※MC(マインドチェンジデー)とは？…生徒にとっては校内一斉の部活動休養日、教員にとっては働き方改革の視点から意識改革の日として本校独自に設定しました。

【課題】

働き方改革に対する教員の意識改革の向上。

【取組内容】

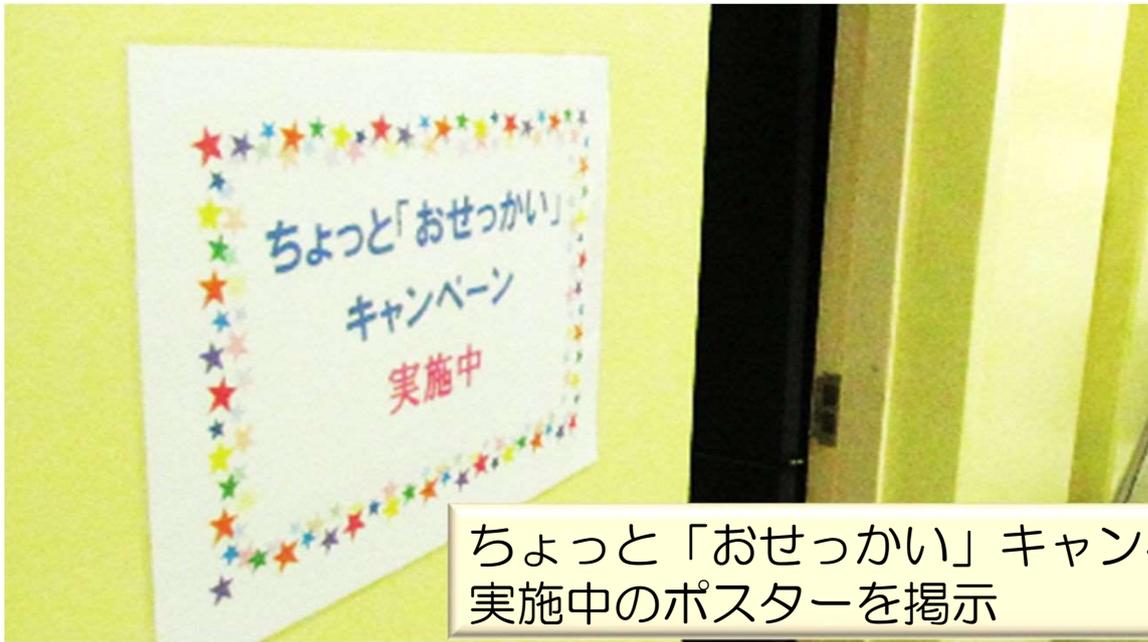
原則月2回、定時退勤を呼びかける、本校独自のMCデーを設定した。

MCデーを月間予定表に位置づけ、学校だより等も活用して保護者、地域に周知した。

【効果】

MCデーの退勤はほぼ全員が18時前後であり、教員の意識改革につながっている。

「ちょっとおせっかいキャンペーン①」



ちょっと「おせっかい」キャンペーン実施中のポスターを掲示

【課題】

一人で取り掛かっており大変そうだが、遠慮や思い違いから声を掛けにくい。

【取組内容】

8月27日～9月28日を「ちょっとおせっかいキャンペーン」とし、他のクラスの様子を見たり、考え込んでいる職員や忙しそうにしている職員への声掛け、仕事の手伝いをするなど、お互いの指導や仕事に踏み込んで見つめ直す機会とした。

- 教員や子どもたちの大きな声がしたら
→ 「どうかしましたか？」
- 考え込んでいる職員を見かけたら
→ 「どうしたの？」と声を掛けましょう
- 忙しそうにしている職員には
→ 「これやっておいたよ」、「何か手伝えることは？」

「ちょっとおせっかいキャンペーン②」

ちょっと「おせっかい」キャンペーン 成果・反省・感想等（全職員対象）

（1か月行ってみて） 〆切10月7日（月）教頭まで 氏名 _____

キャンペーンを1か月经過して成果・反省・感想等を集約。

○キャンペーン実施後のアンケートにて9割が好評

○お互いに協力し合う意識の向上

○業務の仕方を見直す機会及び業務負担意識の軽減

○子どもたちへの良い効果

○キャンペーン実施後の職員の意識

「お助け隊」による学校行事等への協力



【課題】

揮毫作業や町探検サポーター、草取りサポーター等の募集などの業務削減。

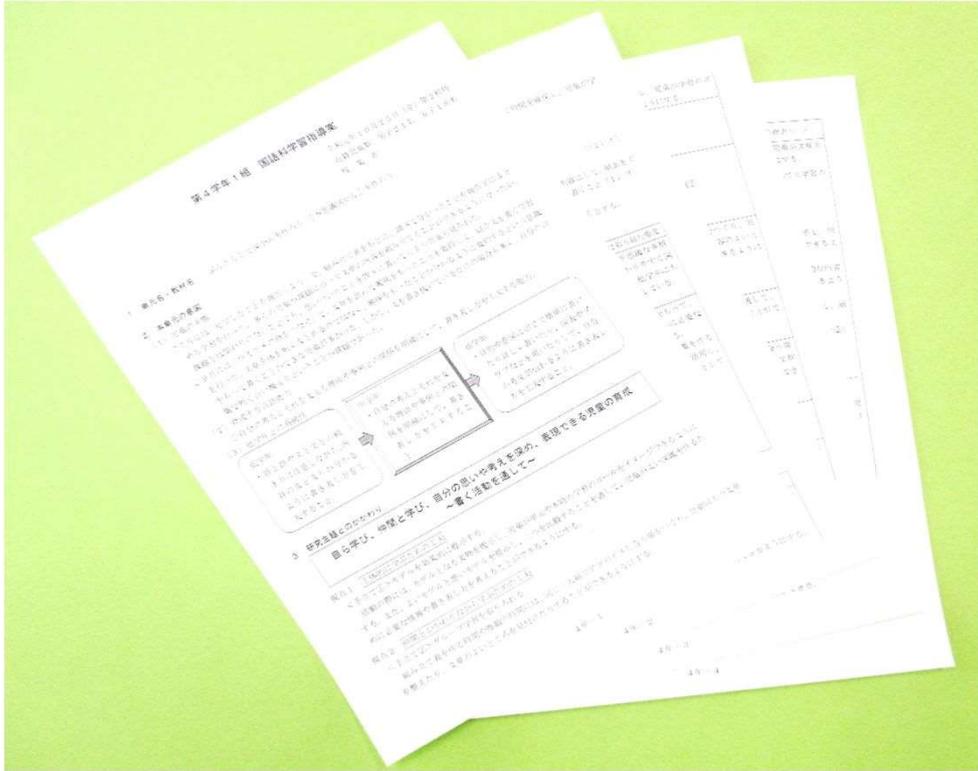
【取組内容】

地域の方と保護者による団体「お助け隊」によって、年間行事計画を基に、学校行事や学年行事ごとにサポーターを募り参加人数を確保したり、賞状の揮毫をしていただいた。

【効果】

教職員の児童に向き合う時間の充実が図れた。

学習指導案の4ページ以内の作成



【課題】

学校課題研究に多くの時間がかけられる傾向がある。時間を有効活用し、日々の授業に効果的に役立てる研修を実践する必要がある。

【取組内容】

研修内容の集中と選択を図り、予定表を作成して、勤務時間内で行えるように計画を立てる。
ワークショップ形式やグループ別作業等、形態を工夫して予定時間内で取り組むように進行する。

【効果】

学習指導案の表現を工夫することで4ページ以内にまとめることができ、作成や印刷・綴じ込みの時間を縮減し、授業に集中できるようになった。

学校安心メールの学校評価への活用

| 設問 | 設問タイプ | 選択肢 |
|--|-------|--|
| <p>本校の生徒は、全体的に見て楽しく学校生活を送っていると思いますか。</p> <p>1 十分そう思う [120人]</p> <p>2 ほぼそう思う [387人]</p> <p>3 あまりそう思わない [32人]</p> <p>4 そう思わない [1人]</p> | | <p>○1 十分そう思う</p> <p>○2 ほぼそう思う</p> <p>○3 あまりそう思わない</p> <p>○4 そう思わない</p> |

【課題】

学校評価での保護者アンケートを紙媒体で行っていたため、時間と手間がかかっていた。

【取組内容】

学校安心メールのアンケート機能を使用し、保護者へアンケートを配信し、回答を得る。

【効果】

回答率も8割を越え、紙媒体による回収、集計の手間を大幅に削減できた。

学校安心メールの保護者通知への活用

進路学習 上級学校を知る会のご案内

上級学校の特色について理解し、来年の進路選択に向けて、自覚を促す契機とするために、本会を実施しますのでご案内いたします。ご多用の折とは存じますが、是非参加ください。

なお、上級学校を知る会の参加の有無について、下記URLを押し、10月25日金曜日までに、ご回答ください。

<http://> [REDACTED]

【課題】

保護者が参加する行事等の開催案内及び参加確認を紙面等で行っており、配付や集計に時間と手間がかかっていた。

【取組内容】

学校安心メールのアンケート機能で開催案内を作成し、各保護者に配信。保護者が開催案内を確認すると同時に、参加の有無を回答する。

【効果】

紙面や電話での連絡が減り、教職員、保護者ともに負担が軽減。

学校安心メールの欠席連絡への活用

| ページ | 必須 | 設問 | 設問タイプ |
|-----|----|---------------|--------|
| 1 | ◎ | 欠席、遅刻の連絡をします。 | ラジオボタン |

選択肢

- 本日欠席します。発熱です。
- 本日欠席します。風邪です。
- 本日欠席します。体調不良です。
- 本日欠席します。上記以外の理由です。
- 本日欠席します。後ほど担任の先生に電話連絡します。
- 本日遅刻します。病院に行きます。
- 本日遅刻します。体調不良、もしくはその他の理由です。

【課題】

朝の保護者からの電話連絡の時間帯が集中し、業務に支障をきたしている。忙しい保護者にとっても生徒手帳で友人に頼んだり、電話による連絡は手間がかかる。

【取組内容】

学校安心メールのアンケート機能で欠席連絡フォーマットを作成し、各保護者に事前に配信。欠席時にフォーマットに従い欠席理由を選択しメールを学校へ送信。

【効果】

電話連絡が減り、教職員、保護者ともに負担が軽減。

行事写真のネット販売

■ 小学校 6年生

保護者 様

(株) ■■■■■
■■■■■

写真販売サービスのご案内

写真撮影・販売でお世話になります、プレストコーポレーションと申します。

撮影させて頂きました写真をインターネットにてご購入頂けるサービスをさせて頂いております。

イベント名 日光修学旅行

販売期間 2019年 11月29(金) ~ 2019年12月10日(木)

販売期間を過ぎますとご購入出来ません

注文の流れ(パソコン・スマートフォン・iPhone 対応)

WEBで「スナップスナップ」(URL: ■■■■■)を検索

または右記のQRコードでもご覧頂けます



【課題】

行事等の写真販売に係る写真の掲示や集金業務等に時間が費やされている。

【取組内容】

自然の教室や修学旅行等、主な行事の写真撮影と希望者への写真販売を業者に委託し、写真をネット販売にする。

【効果】

写真撮影から写真販売等に係る時間と手間を削減することができ、行事の充実に時間を使うことができるようになった。